

研究課題名	No-touch法による大伏在静脈採取に伴う創部合併症
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 心臓血管外科 氏名 櫻井啓暢
研究期間	(西暦) 2017年10月 ～ (西暦) 2023年 4月
研究の意義・目的	<p>大伏在静脈は冠動脈バイパス術において血行再建のため使用されている。No-touch法という採取法は開存率が向上が期待できるが、その一方でこの採取法では創部合併症が従来の採取法より増加することも報告されている。</p> <p>当院ではNo-touch法による大伏在静脈の採取を導入し、その高い開存率が示されたが、一方で創部合併症を高頻度で認めてきた。そのため採取法を修正することで創部合併症の改善を図ってきた。</p> <p>今回の研究では当院でのNo-touch法の変遷と、採取した大伏在静脈の開存率、創部合併症の頻度の変化について検討した。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	2017年10月から2023年1月まで単独冠動脈バイパス術を行った中でno-touch法により採取した大伏在静脈を使用した症例を対象に、カルテ上で経過、創部合併症などの臨床情報を収集した。得られたデータは個人が特定できない形式で解析を行う。
<p>①試料・情報の利用目的及び利用方法 (匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法含む)</p> <p>②利用し、又は提供する試料・情報の項目</p> <p>③利用する者の範囲</p> <p>④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>①カルテより対象患者の術前情報、術後経過の情報を収集する。調査により得られたデータを取り扱う際は、被験者の個人情報保護に十分配慮する。特定の個人を識別することができないよう、対象患者に符号もしくは番号を付与する。対応表は自施設で厳重に管理し、自施設外に個人情報を持ち出しは行わない。</p> <p>②術前情報(基礎疾患、身体所見)、手術内容(使用したグラフト、対象の冠動脈)、術後経過(創部合併症の有無、グラフト開存率、生存)</p> <p>③心臓血管外科所属医師</p> <p>④心臓血管外科 櫻井啓暢</p>
問合せ先	<p>当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 武蔵野赤十字病院 氏名 櫻井啓暢</p> <p>TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525</p>